

会 議 録

1 会議の名称	令和6年度 第3回越前市下水道事業推進対策協議会
2 開催日時	令和6年11月6日（水曜日） 午後1時25分～午後2時15分
3 開催場所	越前市水循環センター 会議室
4 出席委員氏名	奥村会長 横住副会長 門前委員 長谷川委員 吉田委員 小竹委員 山形委員 眞柄委員 上木委員 以上9名
5 欠席委員氏名	禿委員 奥山委員 以上2名
6 事務局職員職氏名	建設部 山田理事 松村建設部長 上下水道課 兵課長 市村浄化センター所長 小谷副課長 齊藤副課長 和田 GL 原主事 経営戦略改定業務受託者 ㈱三水コンサルタント 見須奈氏 (税)合同経営会計事務所 中津氏 松田氏 竹内氏
7 会議議題	(1) 下水道事業経営戦略の素案について ① 概要版について ② 本編について
8 傍聴者の数	なし
9 会議資料の名称	令和6年度 第3回越前市下水道事業推進対策協議会 資料
10 会議の内容の要旨	下水道事業経営戦略の素案についての資料に基づき、概要版及び本編について説明し、質疑応答を行った。 質問 下水道使用料の改定、一般会計繰入金（基準外繰入金）の削減などについて、具体的な計画期間の中で実施計画、数値目標などは設定しているのか。また、達成に向けた具体的な政策はあるか。 回答 下水道使用料の改定については、平成16年4月から改定しておらず、県内の中では2番目に低い状況である。今回の経営戦略は収支均衡が必要であることから、基準外繰入金で収支不足を補てんしている状態だが、下水道を使用していない方も負担している税金を繰入金として受け入れている。料金改定の必要性については、使用料の協議会を立ち上げ検討する必要があるが、経営戦略を基に現在の使用料単価20%増加、使用料単価を150円とした場合のシミュレーションを行っている。使用料改定の数値目標としては、経費回収率を全国平均の97%を目指していくというのが一つの目安となっている。

質問 下水道環境について、年間 3 億円を投じて 500 キロに及ぶ管路の更新予定とあるが、国や県からの補助はあるのか。

回答 改築事業として要件を満たすものについては、国庫補助金の対象となる。要件としては、適正な維持管理が行われているかどうか、ストックマネジメント計画が策定されているか等がある。

質問 経営戦略についてパブリックコメントは行わないのか。

回答 経営戦略についてはパブリックコメントを行う予定はない。理由としては、上位計画である基本構想でパブリックコメントを行っており、経営戦略はその財務計画であるからである。

また、経営戦略のマニュアルやガイドラインにおいても、必須となっていない。ただし、議会での説明や、HPでの周知などを行い広く意見を集める予定である。